

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2020～2021年度

糸魚川

“ROTARY OPENS OPPORTUNITIES”

ロータリーは機会の扉を開く



2021. 1. 28
第2894回例会
No.22

会 長 黒 石 孝 クラブ会報雑誌 猪 又 勝 代
例 会 場 糸魚川信用組合本店 Tel.552-9880 (呼出)
例 会 日 毎週木曜日 12:30～13:30
創 立 1960. 9. 10 承 認 1960. 10. 12
事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 Tel (025)552-1225
糸魚川RC HP <http://itoigawa-rc.jp> 第2560地区HP <http://www.rid2560niigata.jp/>

本日のプログラム

- ・点 鐘
- ・四つのテスト
- ・会 歌 我等の生業
- ・会長あいさつ
- ・幹事報告
- ・委員会報告
ニコニコ箱担当委員
その他委員会
- ・卓 話
おまんた祭り事務局長 松澤克矢様
「おまんた祭りとまちづくり、地域づくり」
- ・点 鐘

＊先々週(1/14)の夜間移動例会・新年会はこの度の豪雪に対処し中止としました。
また、先週(1/21)の通常例会と60周年実行委員会は糸魚川市内でコロナ感染者が確認されましたので、中止となりました。

次回例会プログラム

◇2月4日(木)

19-20年度ロータリー長期交換留学生

神谷優李 様 (糸魚川中央RC)

「ドイツ留学を経て ～国際平和を考える～」

出 席 報 告

◆1月7日(木) 21名

幹 事 報 告

◆1月16日(土)アークシステム社にてクラブ会長懇談会(オンライン)が開催されました。
出席者 黒石会長、斉藤直文君

◇第8回定例理事会開催案内

日 時 1月28日(木) 例会後13時30分～
会 場 ヒスイ王国館 例会場

◇第7分区第27回IM開催案内

日 時 4月11日(日) 13時30分～開会
会 場 ホテル センチュリーイカヤ
登録料 3,000円×100%登録
フォーラム 「今年度活動報告と次年度活動方針」

ニコニコ箱 1月7日

黒石 孝君 今年も会員の皆様が健康で無事に過ごされますようお祈りいたします。
樋口 浩君 あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
建部 進君 あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
藤巻賢策君 本日の卓話、日報糸魚川支局長大日方英樹様よろしくお願いいたします。
本日のゲスト卓話に新潟日報社糸魚川支局長、大日方英樹様をお迎えして感謝！
斉藤正明君 新年あけましておめでとうございます。
コロナ感染が早く終結して、明るく元気な毎日が一日も早く来ることを願います。

1月のRIレート 104円／1ドル

中央RCコーナー

1月29日(金)

糸魚川小唄保存会 中川一成様
「糸魚川小唄保存について」

1月7日例会 黒石会長あいさつ



新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「松の内」に通常例会があることはあまりなく、例年は中央RCとの合同新年会が催されていますが、今年は単独の開催となります。

今日7日は「七草粥」をいただく日でもあり、邪気を払い、無病息災を願いましょう。本年は「再起動の年」にしたいと思います。

1月7日例会

新潟日報(株)糸魚川支局
支局長 大日方英樹様
「駅北大火復興へ
種まく人々」



昭和43年、母の実家の福島会津で生まれ、長野で育ちました。

糸魚川への赴任は2回目であり、1回目は大学卒業後3年目の95年4月から2年半糸魚川に勤務しました。着任してすぐに7・11水害があり9月にはオウム真理教の坂元弁護士事件、翌年は6・25水害、12月に蒲原沢土石流災害、翌1月にはナホトカ号重油流失事故と災害続きの2年間でした。

当時の糸魚川は新聞社4社とNHK支局もあり報道の要所として小さな町ですがいろんなことを外へ発信する重要でやりがいのある町だと思いました。

現在25年振り2回目の糸魚川ですが、その間個人的には全国レベルの糸魚川の山々へ登山にきていましたし、駅北大火の時は被災者の思い出探しでボランティア活動をし、糸魚川とは

ずっと繋がっていた感じです。

以前本社へ帰る前に「記者つれづれ」に掲載しましたが、糸魚川には外から移り住んだ人たちに元気者が多いなぁと実感しています。

当時の印象的な方は土田孝雄さん(三条市出身)、小野 健さん(福島出身)、野柴木洋さん(京都出身)です。三人とも糸西の文化遺産や自然資源を掘り起こし、地元に活力を与えています。

今現在も他県から来た若者が糸魚川活性に活躍しています。又、人知れず全国区なのが詩歌であり、やはり御風のDNAが受け継がれていると感じます。

何もないはダメです。足元の宝物を磨く。外と地元の人がかみ合って地域を盛り上げていかなければなりません。

◆黒石会長の挨拶にもありました、「七草粥」ミニ情報

早春に芽吹く力強い生命力で邪気を払う春の七草

1月7日は人日(じんじつ)の節句と呼ばれ、その日の朝に一年の無病息災を願って「七草粥」を食べる習慣があります。

これは、雪の下でも育つ若菜の生命力を取り入れ、邪気払いをするという願いが込められています。この七草粥に使う七種類はセリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロで「春の七草」といいます。それぞれの若菜もその名前や形から縁起物として尊ばれていたといえます。また、お正月のご馳走で疲れた胃を休め、食欲を増進するといった効果もあります。

七草の縁起

セリ…競り勝つ 血液をきれいに保ち、栄養価が高い
ナズナ…なでて汚れをはらう ビタミンKが豊富
ゴギョウ…仏の体 咳止め、痰きり、喉の炎症に効果
ハコベラ…繁栄がはびこる 非常に栄養素が多い薬草
ホトケノザ…仏の安座 整腸作用、高血圧予防
スズナ…神様を呼ぶ鈴 便秘、胃潰瘍、胃腸障害
スズシロ…汚れのない純白 食物の消化促進

個人寄付

1月7日例会 (5名 14,000円)

(円)

氏 名	スマイル収入	ロータリー財団	米 山 財 団
黒 石 孝 君	1,000	1,000	1,000
樋 口 浩 君	1,000	1,000	1,000
建 部 進 君	1,000	1,000	1,000
藤 巻 賢 策 君	1,000	500	500
斉 藤 正 明 君	2,000		1,000
合 計	6,000	3,500	4,500